

第2回・第3回 社会調査データ活用セミナー

今回のセミナーは、前半はデータ処理の考え方と統計分析の方法についての講義を、後半はデータを用いた演習の2部構成で行います。

開催形式は対面またはZOOMオンラインを併用実施しますので申込時にどちらかをお選びください。



社会調査データの解析① クロス集計と相関分析

近年、データアーカイブの拡充や統計教育の広まりによって、既存の社会調査データを用いた二次分析に注目が集まっています。けれども、データを入手しても分析プランの設定や調査データの加工といった実践的なところで躓いてしまう初学者も多くいるのではないのでしょうか。

本セミナーでまず、分析の手前のデータ処理とその考え方について解説し、立教大学社会調査データアーカイブRUDAのデータを利用して、統計分析ソフトSPSSを用いた基本的な統計分析(クロス集計と相関分析)を実際に行います。

▶ 日時

2020年
10月21日(水)
19:00-20:30

▶ 開催形式

ZOOM
オンライン

▶ 対象者

統計や量的調査に関心のある学部生・
院生ならびに教職員
(兼任講師含)

▶ 定員

20名

▶ 講師

高橋 かおり
立教大学
社会情報教育研究センター
社会調査部会 助教

▶ 申込は コチラ



社会調査データの解析② 回帰分析・二次分析

本セミナーでは回帰分析をテーマにし、立教大学社会調査データアーカイブ(RUDA)で公開されているデータをもとに回帰分析の実践手順・方法について演習を交えながら講義します。

▶ 日時

2020年
11月25日(水)
19:00-20:30

▶ 開催形式

ZOOM
オンライン

▶ 対象者

統計や量的調査に関心のある学部生・
院生ならびに教職員
(兼任講師含)

▶ 定員

20名

▶ 講師

五十嵐 彰
立教大学
社会情報教育研究センター
社会調査部会 助教

▶ 申込は コチラ

